

第1回青森市統合新病院整備場所等検討会議 議事要旨

○日時 令和5年11月20日（月）18時30分～20時00分

○場所 青森市役所本庁舎2階 庁議室

○出席構成員（11名）

青森公立大学経営経済学部 足達准教授、青森市浪岡商工会 一戸会長、
青森商工会議所 葛西専務理事、国立病院機構本部DMAT事務局 近藤次長、
青森市農業委員会 福士会長、青森県立保健大学健康科学部 三好准教授、
青森県不動産鑑定士協会 最上監事、青森市医師会 北畠会長、
青森地域広域事務組合 佐藤消防長、青森市町会連合会 佐々木会長、
青森市病院運営審議会 原子委員

○欠席構成員（1名）

青森県建築士会 工藤副会長

○案件

- （1）整備場所の検討対象地選定の考え方について
- （2）整備場所の検討事項について

（1）整備場所の検討対象地選定の考え方について

（佐々木会長）

- ・まちづくりとなると、郊外よりは中心部を起点にした方が患者さんの利便性向上につながるので、その点を一番大前提に検討するべきではないか。

（原子委員）

- ・整備場所の検討対象地として挙げられている3か所は、敷地面積や交通の利便性、今後のまちなぎわいなども想定され、それぞれに魅力的な場所だと思う。
- ・どのような交通手段を利用して病院に行けるかということが気になっており、自家用車を所有していない場合や県内全域からの利用を考えると、新病院までの交通手段として、電車や市営バス、または病院独自の循環バスなどの利便性は欠かせない要素だと思う。
- ・病院周辺の風景は今までとは違った雰囲気になると思う。広い駐車場や緑の芝生、樹木、色彩豊かな花などの植物、そして、病室の窓から見える山や海、自然の風景は、気分的な安定感が得られるし、病気の治療効果も期待できると思う。

(北畠会長)

- ・ 3か所の検討対象地は順当だと思うが、自家用車の利用や救急搬送時における救急車の状況を考えると、敷地面積は広めに取れるところを十分考慮しながら場所を選定すべきではないか。

(近藤次長)

- ・ 敷地面積については、駐車場の部分と実際に病院が建っている部分をしっかり分けて考えると、本当に必要な面積は分かってくると思う。
- ・ 低層の病院の場合、平時は使い勝手が良くないが、災害時にはエレベーターが止まっても大丈夫というように、低層化・高層化でそれぞれメリット・デメリットがあるので、そこを含めて考えると良いと思う。

(福士会長)

- ・ 県総合運動公園は三内丸山遺跡に隣接しているが、仮に文化財が出土した場合は病院建設に影響はあるのか。

(今青森市民病院事務局次長)

- ・ 埋蔵文化財となると、その手続きは必須ということになるので、病院建設にも影響することはあり得る。

(一戸会長)

- ・ 隣接する三内丸山遺跡を見てもらうことで、入院患者に希望を与えられるので、私としては、県総合運動公園に病院を作った方が良いと思う。遺跡の関係もあり面倒な部分もあるが、県と市が一体となっていく画期的なプロジェクトであり、やるからには夢があるものを作るべき。

(佐々木会長)

- ・ 場所については、駐車場や患者の目線を考えて立地すべきと考えるが、八戸市立市民病院は、元々田んぼが広がっているところにまちを形成し、交通アクセスも均等に整備され、駐車場もかなり広い。
- ・ 私有地の買収には地権者がいるため年数はかかると思うが、こういう事例も踏まえ、もっと別な観点で検討しても良いのではないか。

(最上監事)

- ・八戸市立市民病院の場合は、市街化調整区域で土地区画整理事業を行い、そこに中核となる市民病院を移転したという事例。移転に当たり、都市計画道路の整備や都市計画の変更などの一大事業だった。
- ・大きな病院ができるということは、民間病院が移ったり、薬局ができたり、そこで働く人が行くお店ができたりする。また、ものすごく交通量も増え、近隣住民への影響も多大になる。
- ・3か所の検討対象地は良し悪しあるが、交通アクセスから考えると、いずれの対象地も脆弱だと考える。病院を作ることによって一つのまちができると考えると、今ある市街地に新病院を整備することが、果たしてまちづくりとして良いのかどうか考えていかないといけない。

(北島会長)

- ・医療面を考えると、新しい統合病院は、青森県の医療のかなり大きなところを占めると思うし、全国から研修医が集まってくると思う。そうなってくるときには、その病院を含め、新しい魅力あるまちを作っていくことは必須だと思う。
- ・3か所の検討対象地を使うのは良いとは思いますが、そこに新しいまちができるかというところちょっと難しいかもしれない。

(一戸会長)

- ・市長も知事も新しくなり、2人でやっていこうよということになったので、我々としても些細なことにこだわらないで、やる以上は、青森県が医療のトップになるんだ、新たにまちと医療関係を変えるんだ、という気持ちでやるべき。

(近藤次長)

- ・地震が逼迫している状況において、新しくまちを作るという事業の規模感と同時にスピード感をどう判断していくのか、双方の重みをどれくらいにするのかということをつータルで考えないと、なかなか答えは見つからないのではないかと。

(福士会長)

- ・私有地というと農地だと思うのだが、青森市の市街地に近い農地（田）は、青森県農地中間管理機構を通して、10年15年という期間で借りている方がたくさんいる。それを解約し、売買となると相当な時間がかかると思う。生産者がいない農地もあるため、その辺を考慮すると、相当な時間を要するのではないかと。

(足達座長)

- ・ 3か所の検討対象地の選定の考え方は適切であると思う。
- ・ 私有地については、特定の場所ではなく、市街地に近い、ある程度の範囲を持ったエリアを参考として検討に加えるべき。
- ・ 私有地エリアはスピード感という意味では、なかなか難しいエリアになると思うが、そういうことも含めて良い面と悪い面を挙げる。念には念を入れて公有地3か所以外に私有地も検討すべき。

(2) 整備場所の検討事項について

(足達座長)

- ・ 次回の検討に向けて、必要なデータや確認したい点などがあれば御意見いただきたい。
- ・ また、質疑応答に先立ち、災害対策について近藤次長からコメントいただきたい。

(近藤次長)

- ・ まず基本的な考え方として、当然にして、災害対策というのは、何か一つやると一挙にリスクがゼロになるという話ではない。一つのリスクだけに注目しそれだけを避けることに集中しすぎるということは、かえってミスリードする可能性があり、二重三重の様々な対策を講じなければならない。
- ・ 今年、秋田県と福岡県の病院で浸水や一部避難が起きたわけだが、両病院ともハザードマップで想定される典型的な水害でやられたわけではなく、内水氾濫や局地的豪雨が原因であった。今は、川の氾濫に限らず浸水被害は起こってくる状態であるので、洪水のハザードマップを外れていればそれで良いかということそういうわけではない。
- ・ ハザードマップで危ないと分かっているのであれば、それに対しての対策や備えをしっかりとやれば、それなりにコントロールができる。
- ・ ハザードマップで分かるリスクについては、しっかり備えるというのは当たり前。トータル的に考えた場合、色々なリスクに対してコントロールされている状態が最終的にできていれば良いのではないか。
- ・ 建て増しで建てていく病院が非常に多いが、その場合電源関係が非常に複雑になり、すごく脆弱になってしまうことがある。災害に強い電気施設を作ろうとなると、建て増しよりもいっぺんに作ってしまう方が良い。
- ・ 地震については、建物を免震や制振で建てられるのであればあまり問題はないと思うが、断層の直上はさすがに駄目。震度だけではなく断層についてもしっかり考えるためにも、断層が分かる資料を示していただきたい。

(葛西専務理事)

- ・整備場所を考えるに当たって、浸水対策が非常に重要な要素になっていると思う。駒込ダム建設などによる治水対策の効果がどの程度なのか概要を示していただきたい。
- ・統合新病院の整備にどの程度の面積が必要かということがこれから議論されると思うが、そのためにも、駐車場がどうなっているかなど、具体的な事例を示していただきたい。

(三好准教授)

- ・通院アクセスを考えると、交通弱者と呼ばれる方は公共交通機関を利用する人が多いと思う。その中でも電車よりバスを利用する人が多いと思うが、整備場所によっては、新たにルートを設定する必要があると思うので、対象地ごとに、現行のバスの運行にどれぐらいの影響があるのか整理していただきたい。

(足達座長)

- ・病院ができたときは、どのような対策をもって災害対策や交通アクセスなどを充実させられるか考える必要がある。

(一戸会長)

- ・議論することも大事であるが、期限を区切って議論を進めることが大事だと思う。

(足達座長)

- ・知事も先日の有識者会議でそんなに時間はないとおっしゃっていた。もちろんのんびりやるわけではないが、確認しなければならないことが出てくるのであれば、必要な会議はやるべき。

(近藤次長)

- ・救急の観点でいくと、市内だけの救急アクセスではなく、県全体を考えた際、端的に言う通院アクセスの方に高速道路の資料があるのではなくて、救急搬送のところにあるとより分かりやすいと思う。
- ・ドクターヘリの運航に当たって、空港や自衛隊基地等によって規制が入る場合があると聞いているので、検討対象地に重大な損害があるのかどうか示していただきたい。

(北島会長)

- ・ドクターヘリに関して言えば、新しい病院を作る際は、ドクターヘリの騒音や危険性の問題も大きな要因になるのではないか。

(最上監事)

- ・セントラルパークを候補地とした場合、救急搬送について道路をどのように整備するのか。場所を決めてから道路の整備を考えていくということだと思うが、道路整備の条件がないと、どこの場所にするという話はなかなかしにくいのではないか。
- ・セントラルパークに駅ができるのとできないのとでは全然条件が違ってくるが、ここを候補地として考えるのであれば、新駅の設置は必須ではないか。

(佐藤消防長)

- ・救急搬送に当たっては、交通渋滞や周辺道路の幅員などが関わってくる部分であるので、対象地周辺の渋滞対策や道路拡幅などについて示していただきたい。
- ・整備場所によって浸水の状況は違っていても、救急搬送に支障は来すことになるため、浸水対策について示していただきたい。

(足達座長)

- ・交通アクセスや都市計画については、私有地の資料を追加していただきたい。

(福士会長)

- ・農地（田）には、個人所有もあれば、長期で賃借しているケースもあり、その中には、所有者が不明な場合もあることから、その辺を確認していくと、取得までに相当な時間はかかると思う。

(足達座長)

- ・事務局においては、本日の意見を基に、不明な点については有識者の皆さんやりとりしながら、次回の会議（12月22日（金）18時）に向け資料を作成していただきたい。